

このたび、三月末にて退職いたしました。平成九年以来、十四年の校長生活でした。その間、実に多くの生徒を迎え、成長を支え、送り出してきました。それを縁として本当に様々な方々とお出会いさせていただき、交流できたことは有り難いことでした。ともに歩んでくださった教職員の皆様や、信じて本校に委ねて下さった保護者・生徒の皆さんには、感謝と御礼以外にありません。

初代校長清沢満之先生から連綿と継がれ、戦後は廣小路亨先生・谷澤允先生・上宮厚慧先生・多田孝圓先生によって時代対応してきた本校の建学の精神・教育理念を、混迷し閉塞する現代社会（教育を受けた人によって構成されている）の中で、学校内外において共有したいと念じながらの十四年間でありました。大谷は人間教育の進学校として、自己の存在そのものへの安心を確立した上に能力への自信を付けることを、懸命にやる学校です。現代を混迷に陥れている「人間の知恵」のもつ闇を認識した上で、謙虚に真実を求め、付与された資質を開花させていってほしいものです。太田清史校長のもとで、大谷のさらなる充実を心から願い応援しています。

退職直前には、かつて顧問をしていた吹奏楽部の定期演奏会で、最後に「マーチ大谷」の指揮をする機会をプレゼントしていただきました。有り難い校長生活でした。 合掌